



世田谷文学館友の会 おしらせ 第159号

2022年3月23日
世田谷文学館友の会
〒157-0062
世田谷区南烏山1-10-10
TEL 03-5374-9111
FAX 03-5374-9120
ホームページ
<https://setabuntomo.net/>

2022年度 総会及び記念講演のお知らせ (再掲)

世田谷文学館友の会は、2022年度の年次総会及び世田谷文学館と共催の記念講演を開催いたします。

日時・場所：4月3日(日) 於)世田谷文学館 1F 文学サロン

年次総会 午後1時30分～2時10分 (受付午後1時より)

記念講演 午後2時30分～4時30分 (総会終了次第、受付午後2時10分より予定)

演題 ～ファザコンからの脱却——父・阿川弘之の生誕100年を迎えて～

講師 阿川 佐和子氏 (作家・エッセイスト)

会員のご入場：総会及び記念講演ご参加者は、ご入場時に「2022年度会員証」並びに友の会から郵送した記念講演参加案内の「返信はがき」のご提示をお願いします。

会員以外のご入場：記念講演ご入場時に、友の会から郵送した記念講演参加案内の「返信はがき」のご提示と「参加費1,500円」をお支払いください。

なお、ご入会(年会費1500円)希望の方は事前にお手続きいただけましたら幸いです。

ホームページ「世田谷文学館友の会」>[友の会へのお誘い](#)>[入会お申込みフォーム](#)へ。

<お詫び>

往復はがきにて記念講演のお申込みをいただき誠にありがとうございました。3月14日に締め切りしましたところお申込み多数となりましたので抽選を行い、翌15日に当落の通知「返信はがき」を発送させていただきました。その通知文中、講演日を4月3日(日)と印字すべきところ、(日)を(土)と誤植しました。大変申し訳ございません。お詫びして訂正します。ご予約いただいている皆さまのご来場をお待ちしています。

— 2022年度会員証を本号に同封しました —

2022年度の会員継続のご協力に感謝いたします。3月14日までに年会費をお振り込み済みの会員の皆さまへは、2022年度の「会員証」を本号に同封しました(既にお渡し済みの会員を除く)ので、必ずご確認ください。新会員番号は「040—」で始まる6桁の番号となっています。

◆◆◆ まだ会員継続手続きをなさっていない方へ ◆◆◆

会員継続手続きをなさっていない方は、再度同封しました「郵便振替用紙」、あるいは郵便局に備えられた振替用紙を使用して下記要項にて年会費をお振り込みください。ご入金を確認次第、新年度会員証をお送りします。

◎2022年度年会費 : 1500円

◎加入者名 : 世田谷文学館友の会

◎郵便振替口座番号 : 00180-4-93582

◎通信欄 : 現在の会員番号(6桁)

【館の窓口手続きについて】

年会費の納入は原則、郵便振替を希望しますが、文学館3階の窓口でお手続きされる場合は、年会費のみ受領し、会員証は追ってお送りします。なお、友の会スタッフの在館する火曜日は会員証もお渡し可能です。

俳句鑑賞会

4月26日(火)、5月24日(火) 午前10時半～正午

文学館2階講義室 参加費 200円 秀句一句とご自作があれば一句お持ちください。

*次の「おしらせ160号」は6月上旬発行予定です。

(裏面に続く)

文学散歩 樋口一葉生誕150年 本郷で暮らした時代を辿る ～桜木の宿（少女時代）、菊坂（一葉の井戸）、丸山福山町（終焉の地）～

樋口一葉（1872-1896）は、明治5年、東京府の士族の父・則義と母・たきの次女として誕生した。家族7人、最も安定した暮らしをしていた少女時代、本郷法真寺隣の住処を「桜木の宿」と呼んだ。小石川の「萩の舎」に学び、日記を綴る文学少女であったが、長兄が死に、父が死に、母と妹の3人で苦勞の時代が続く。

菊坂を下った井戸のそばの長屋へ移り、近所の伊勢屋質店へ質入れが多くなる。吉原遊郭近くの下谷龍泉寺町で雑貨商を営んでみたものの10カ月足らずで見切りをつけ、本郷に戻る。

明治27年5月、丸山福山町4番地（現・文京区西片1丁目）の借家に落ち着き本当の文学生活が始まる。作家として希望に燃えた絶頂期を迎え、馬場孤蝶や島崎藤村など『文学界』同人や斎藤緑雨といった文筆家などが毎日訪れ、文学サロンのようになっていたという。一年も過ぎた頃に胸を患う身となるまでは。明治29年24歳で夭逝、ここが終焉の地となった。『大つごもり』『たけくらべ』『にごりえ』『十三夜』などの名作が死と隣合わせの「奇跡の14カ月」の中で発表された。（樋口一葉文学碑のある西片1丁目、株式会社KSビルディング制作の葉などを参照）

今年生誕150周年を迎えた樋口一葉の本郷時代の旧居跡を辿り、一葉の短くも濃密な人生に思いを馳せてみたいと思います。

- 日 時 : 5月13日（金）及び5月15日（日）（両日とも同じコース、小雨天決行）
集 合 : 12時45分集合、東京大学「赤門前」（正門ではありません）（会旗あり）
最 寄 駅 : 東京メトロ丸ノ内線/都営大江戸線「本郷三丁目駅」、東京メトロ南北線「東大前駅」
コ ー ス : 東大赤門向いの宮沢賢治職場「文信社」跡（本郷5-25）⇒ 桜木の宿（本郷5-27）
⇒ 菊坂の井戸のそばの一葉旧居（本郷4-31）、賢治下宿跡（本郷4-35）立ち寄り
⇒ 伊勢屋質店（本郷5-9）⇒ 源覚寺 こんにやく閻魔（小石川2-23）
⇒ 丸山福山町 一葉終焉の地（西片1-17）⇒ お力（『にごりえ』主人公の酌婦）
の働いていた銘酒屋街跡 ⇒ 都営三田線「白山駅」15時半解散予定（歩行約6km）
- 案 内 人 : 松山 信洋氏（文学遺跡探査者）
参 加 費 : 1000円（ガイド料、保険代含む）
募集人数 : 各日20名程度 ※ご参加者はマスク着用をお願いします。
申込締切 : 4月25日（月）必着、**第一希望日・第二希望日を必ず明記ください。**
(応募多数の場合は希望日調整あるいは抽選)

【世田谷文学館からのお知らせ】

2022年度の年間企画展を次のとおり予定しています。

- 上期：「ヨシタケシンスケ展かもしれない」 2022年4月9日（土）～7月3日（日）
下期：（仮）「萩原朔太郎展」 歿後80年記念 10月1日（土）～2023年2月5日（日）

<催事変更の場合のお知らせについて>

当会の新型コロナウイルス感染拡大防止対策は、国や都、世田谷区の方針に沿って対応してまいります。状況によりご案内の催事をやむを得ずキャンセルする場合などは、ホームページの友の会イベント欄などでお知らせします。また、催事参加ご案内（返信）後は、対象者へお知らせします。

<催事参加申込み方法>

★4月4日よりホームページ「世田谷文学館友の会」>「イベントお申し込みページ」で申し込みが可能です。

★「往復はがき」でのお申し込みは、下記の事項を記入してお送りください。

- ①催事名 ②開催日・参加希望日 ③現在お持ちの会員番号（会員以外の方は「非会員」と明記）
④住所・氏名（ふりがな必須）・電話番号（散歩応募の場合は携帯番号） ⑤今後ご希望の講座・散歩など。
連名申込み可（③と④を必ずご記入ください。また返信用はがきの宛名にも連名者氏名をお忘れなく。）。

参加費は当日お支払いください。

宛先 〒157-0062 世田谷区南烏山1-10-10 世田谷文学館友の会 TEL 03-5374-9111 FAX 03-5374-9120
ホームページ 「世田谷文学館友の会」> <https://www.setabuntomo.net/>

お問い合わせは友の会専用携帯：080-1154-1562 へ。毎週火曜日10時から17時、友の会スタッフ在館。